

令和7年度組合等課題対応新事業展開支援事業 実施結果⑤

活用組合（概要）

組合名：TEIBAN事業協同組合

所在地：奈良県磯城郡田原本町

組合員：7名

活動内容

奈良の「ものづくり」の真価を伝えるために結成した任意団体が始まりで、参画企業のブランド製品の共同販売や共同宣伝を行うことで経済的地位の向上を図ること、また、奈良県内の企業がブランドの世界観を構築し、生活者から共感を得て新たなファンを獲得することを目的に令和7年2月に協同組合を設立。個別のブランドだけでは届かない広範な層へ奈良の魅力を発信している。

N・A・R・A
T・E・I・B・A・N

中長期的課題

【奈良TEIBANブランドの認知度向上による売上増】

- ①ライフスタイルの変化に伴う需要の減少
- ②海外産の安価な大量生産品との価格競争
- ③流行を読み取り、日々新しいものを追求していく

【解決策】

「TEIBAN」ブランドの認知度向上のため、個々の企業では届きにくい都市圏の富裕層の市場に対し、奈良の「産地」としての存在感を確立することを目的に、都市部の百貨店特設会場での展示会を開催。

取組結果

展示会名：プロセスが生む。ものづくりの哲学展

実施日時：令和8年2月11日（水）～17日（火）

実施場所：松屋銀座1階 イベントスペース

内 容：奈良県の伝統産業・地場産業（木材加工品・麻布・薬湯等）の企業が作る製品紹介

出展社数：17社

【成果】

会期中は組合員が開店から閉店まで終日対応し、奈良のものづくりの精神やライフスタイルといった作り手の「哲学」そのものをブランドとして提示することに努めました。来場者との対話の中では自社のブランドの商品紹介や哲学の提示のみならず、首都圏の顧客からデザインや価格等に関する貴重な意見・感想をいただくことができ、今後の商品づくりやアピールの方法について組合員ごとに学びがありました。

今後は、ブラッシュアップミーティングによる振り返りを実施し、組合員ごとに感じた課題や良かった点を共有し、改善点については次回以降の展示会に反映し、奈良TEIBANブランドの認知度向上につなげていきます。

